

# 市民の声が実現させた旧川越織物市場の保存再生

(埼玉県川越市)

旧川越織物市場は、明治43年に建設された織物取引の場で、旧栄養食配給所は、織物市場に隣接し、昭和9年に近隣の中小織物工場へ給食を配給するためにつくられた施設であるが、時代を経てその役割を終え、住居として使用されていた。

平成14年には高層マンション建設が計画され、解体の危機を迎えたが、市民を中心とした保存に向けた署名活動に合わせ、行政による建築物の調査が実施され、市指定有形文化財に指定された。整備に当たっては、歴史まちづくり計画の認定に伴う補助を活用し、保存・再生活用が実現した。両施設ともに当時の姿を残す遺構として全国的に唯一のもので、希少性の高い産業遺構である。整備後は、文化創造インキュベーション施設として、地域課題の解決のに向けた活動や地域の交流の場として活用している。



川越市文化創造インキュベーション施設(施設愛称:コエトコ)入口  
手前の建物は地域との交流の場となるカフェ(新築)



旧川越織物市場西棟及び東棟の間の広場空間で実施するプログラムの様子



旧栄養食配給所(外観)



旧川越織物市場東棟の入居者専用サロンスペース



旧川越織物市場東棟の企画展示室



旧栄養食配給所内の展示・イベントスペース

## 【事業に関する情報】

- ・建築物は、すべての部材を手作業で取り外した後、部材を補修し、再度組み立てを行う「全解体修理」によって再生し、過程の記録を実施。
- ・上記建物再生に加え、通りに面した敷地入口には保存建物に調和したカフェを新設。
- ・インキュベーションオフィスに入居したクリエイターの活動を支援することに加え、地域の課題解決を考えるゼミの開催、地域イベントの実施等、多様な活動・交流の場として活用。

## 【事業関連データ】(計画認定:平成23年)

**事業名** 旧川越織物市場整備事業  
**事業実施重点区域名** 川越市歴史的風致維持向上地区  
**事業主体** 川越市  
**事業期間** 平成25年度～令和5年度  
**活用した補助金** 国土交通省  
 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業、街なみ環境整備事業)

## 事業の実施に伴う土地・建物の取得

- ・土地:取得(購入):旧川越織物市場ほか敷地(約1,500㎡)
- ・建造物等:取得(寄付):旧川越織物市場及び旧栄養食配給所(約950㎡)

## 文化財等の指定状況

- ・旧川越織物市場及び旧栄養食配給所:市指定有形文化財、歴史的風致形成建造物

## 【有識者からのコメント】

川越を代表する蔵造りの町並みは、明治26年の大火後、短期間で遂げられた復興を基盤とする。その財力をもたらした産業の一つが綿織物、特に川越唐棧である。川越と綿織物との関係性を今に伝える存在として、旧川越織物市場は重要である。この建物が解体の危機に晒された際、歴史的価値を即座に察知し、住民が保存運動を開始したことは特筆に値する。また、保存運動の最中に歴史まちづくり法が制定されたことは、市域の一等地に位置するこの土地と建物の取得および修理事業の実施を川越市が決断し、保存に至った要因の一つに挙げられよう。米国に拠点を置くワールド・モニュメント財団からの支援もあった。(下間)